

御挨拶

平成14年もいろいろなことがあり、ただただ驚くばかりの事件が新聞やテレビを毎日のようににぎわせました。お釈迦さまは、いずれ世の中が乱れに乱れる「末法」の時代が到来するとおっしゃいましたが、まさに今の時代がそれに当ります。悲しいことに、お釈迦さまのおっしゃる通りになっているといわざるを得ません。

では、こうした時代に私たちは何をすればいいのでしょうか。みなさんは、お念仏をとねえる機会をどのようにしてもっているのでしょうか。

法然上人は、お念仏をとねえやすい生活をお勧めなさいます。あまり堅苦しく考えずに、毎日の中にとねえるきっかけと時間を作ってあげればいいのです。たとえば食事の前後や就寝前に決めた数をとねえる、といった目標設定も大切になります。いすれにしてもこの年末年始、はともいっきっかけとなるはずで

当寺においても正月一日、午前11時より初説教、初念仏を致します。年頭に当たりお檀家の皆様おそろいで「お参り下さい。心よりお待ち申し上げます。

年末にあたりこの一年間菩提寺に御支援、御協力を賜りました事誠にありがとうございました。来年も相変わらぬようよろしくお願い申し上げます。



お知らせ

- どんなに御遠方でありましても、お知らせ頂きますれば、通夜、葬儀、並びに御法事には、極樂寺より必ずお参り致します。
- 11月30日、先代住職により、境内地に(川下地区)渡辺三郎様御夫妻建立の蓮沼観音様開眼供養が行われ、また之を御報告致します。
- ご法事のお申込みは、日、時が重なる場合がございませぬので、あらかじめ、お寺に御相談下さい。よろしくお願い致します。



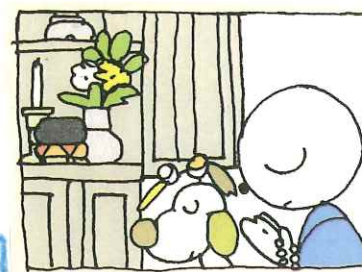
法話

「ただ一向に念佛すべし」ほどのくらいの声なのでしよう。法然上人様のお念佛は、

“我が耳に聞こゆる程を言うなり”との仰せであります。

試してみれば、いかがかな？

なむあみだぶつ



ゆとりある暮らしは始末する日々から生まれる



「消費は美德」と言われる時代は、とつくに過ぎました。経済の高度成長から、低成長の時代へと突入して久しい現在、各方面で、今までのいわゆる無駄遣いに対する反省が促されています。

家の中を見まわしても、「随分いろんな物を買って込んだなあ」とは思いませんか。高度成長の頃は「消費者は王さま」だとか「お客さまは神さまです」だとかいう流行語も生まれ、こちらもついそれに乗せられたという感があります。

これでは、国も家庭も、財政がパンクするのはあたり前、豊かに見える現代社会も、台所は火の車。ゆとりどころか、あせりに追われているのが実態のようです。

それに較べれば、昔は、物には恵まれなかったかも知れないけれど、毎日が、のんびりとしていたとは思いませんか。欲しい物が手に入らない代わりに、「始末する知恵」を教えられました。

その結果、どんな時でも生き抜いていく底力が、養われたような気がします。

もちろん、度を越した始末は、景気を冷え込ませるでしょうし、豊かな経済社会ばかりが続くとは思われませぬ。**平常心(へいじょうしん)**、**平常心(へいじょうしん)**、**日々の心がけ**が、本当のゆとりある暮らしを、私たちに約束するのではないのでしょうか。

奈落の底

この奈落は「ならく」と読み、意味は地獄。言葉の成り立ちは地獄を意味する梵語からの音写で、まさに仏教用語の代表選手と言ってもいいでしょう。

昔は、お寺で地獄絵図を見せながら、唾をつくと舌を抜かれるぞなどと和尚さんが子供たちに話をしたもので、今のご時世では子供どころか大人にも地獄絵図を見せないといけないですね。

さて、奈落だけでも奈落の底という意味もありますが、まさに落ちるところまで落ちた、どん底という意味です。



精進料理



- 材料
- オカラ.....200グラム
 - にんじん.....小1本
 - ピーマン.....3枚
 - コンニャク.....2分の1枚
 - あじふけ.....2枚
 - あちゅんマイの皮.....適量
 - シュリンピース.....12枚
 - クリンピース.....少量
 - ぎんなん.....少量
- 作り方
- ① にんじん、ピーマン、コンニャク、あぶら揚げをみじん切りにする。
 - ② オカラに①を加え、だし汁、砂糖、しょう油、塩、ごま油等で味をととのえながら、弱火でよく混ぜ合わせ、最後に片栗粉を加える。
 - ③ シュウマイの皮にあら熱をとった②を入れて形を整え、グリーンピース、ぎんなん、にんじんの飾りをのせる。
 - ④ 蒸し器に③を油を塗ったちんげん菜をしき、⑤を盛り付け十分ほど蒸す。